

食べて、遊んで、考えた2日間

「輝け！ふるさとの昔・今・未来」～“食・文化・環境・じげ”を満喫～



飲食物の発泡スチロール容器は、来場者自らの手で洗ってもらってリサイクルしました



じげの名物・2周年を迎えたくりや市の出張テントは、開店前から長蛇の列で大賑わい

「子ども広場」では竹とんぼ作りに挑戦!! りんごの皮むき大会や大声大会、ストラックアウトも楽しみました



「じげの名物自慢」コーナーでは、迫力満点のマグロ解体ショーもおこなわれ、超特価で即売されました

ジャグラー・モーリーのジャグリングショーでは、会場の観客が飛び入り参加



さわやかな秋晴れの空の下、今年で第19回を迎える「名和町ふるさと祭」が、10月23日～24日の2日間、名和スポーツランドで実施されました。

今年のテーマは「輝け！ふるさとの昔・今・未来」。町制施行50周年記念式典、公民館サークル発表会（展示の部）とあわせておこなわれたこともあり、例年以上に盛大なイベントになりました。

「3町民オンステージ」には、合併を控えた大山町・中山町から、「じげの名物自慢コーナー」には、大山町・中山町のほか、友好交流都市・呉市の「くれ肉じゃがの会」、在日本国民団米子支部による出店もあり、様々な場面で、交流の輪が大きく広がりました。

また、名和町出身の高見邦雄氏を招いて開かれた「自然エネルギーと環境を考えるつどい」では、高見氏の講演のほか、町内での行政・学校・農家の取り組みを報告するシンポジウムも実施されました。



好天に恵まれ、屋外に設置した小型風力太陽光発電機も元気に回りました



公民館サークルや町内の各種団体・個人・企業・学校などから多数の作品が展示されました



「じげの刺身はおいしい?」魚のさばき方講習会では、ハマチやアジの刺身に挑戦!!

次々繰り上げられる演目に、観客席も大いに盛り上がりました



『NGO 緑の地球ネットワーク』事務局長・高見邦雄氏を招いて、「自然エネルギーと環境」を考える集いが開かれました



「自然エネルギーと環境を考える」シンポジウムでは、町内の様々な取り組みが紹介されました



「おいしいですよ!!」肉じゃが発祥地・呉市からはくれ肉じゃがの会」が3年ぶりに出店



「3町民オンステージ」中山町健康フラダンス教室